

科目名	臨床栄養学実習Ⅰ（校外）		前期～後期	1 単位
サブタイトル			実習	
担当者	杉岡 ふみ子、久永 文			
[アクティブラーニング授業]				
PBL（課題解決型）	○	反転授業	○	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	○	
その他		実務経験のある教員による授業	○	
[到達目標] 病院の管理栄養士の業務を理解し、栄養ケアマネジメントについて実践的に修得する。				
[授業概要] 臨床栄養学臨地実習において、病院管理栄養士業務の知識・技術・態度を修得する。 具体的には、カルテ閲覧・面接から患者情報を収集し、患者の栄養スクリーニング、栄養アセスメント、必要栄養量・患者のニーズに基づく栄養ケアの作成、および献立作成・発注業務・食数業務・調理業務、提供した食事の摂取状況の把握、栄養相談（栄養カウンセリング）の実施、栄養相談報告書の記入、チーム医療への参画、栄養ケアのモニタリング、再評価など一連の栄養ケアマネジメントを実践的に学ぶ。				
[準備学修（予習・復習）の内容・時間] 臨床栄養学概論、臨床栄養学Ⅰ・Ⅱ、ライフステージ栄養学、臨床栄養管理学実習Ⅰについて復習しておくこと。 臨床栄養学臨地実習の配属病院の栄養管理の特徴について調べておく。				
[授業計画] 大学内において、「病院の管理栄養士の実務」を予習・復習する。 1. 臨床栄養管理の流れ（食事オーダー・食事の種類） 2. 臨床栄養管理の流れ（栄養アセスメントの実際） 3. 臨床栄養管理の流れ（栄養ケアの実際） 4. チーム医療の実際（糖尿病） 5. チーム医療の実際（NST） 6. チーム医療の実際（緩和・嚥下・化学療法など） 7. 栄養指導の実際（個人指導） 8. 栄養指導の実際（集団指導） 3回生は、臨床栄養学実習Ⅰ・Ⅱ（校外）の単位として、総合演習Ⅱ（4回生開講科目）の後期に指示された日に受講する。				

科目名	臨床栄養学実習Ⅰ（校外）	前期～後期	1 単位
サブタイトル		実習	
担当者	杉岡 ふみ子、久永 文		
〔 成績評価方法 〕 臨床栄養学臨床実習の評価（70％）、実習課題・報告内容など（30％） 〔 課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法 〕 ・課題等の内容について指導を行います。 ・実習ノートを後日添削して返却します。 〔 オフィスアワー（質問等の受付方法） 〕 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 〔 メールアドレス 〕 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 〔 この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP） 〕 学科DP番号／DP内容：管栄1-2／人体の構造と機能及び疾病の成り立ちについての知識と理解を基盤とした健康と栄養に関する知識を有している。 成績評価方法：実習課題・報告内容 学科DP番号／DP内容：管栄1-4／臨床病態についての健康と栄養に関する知識と技能を有し、栄養ケアプランの作成ができる。 成績評価方法：実習課題・報告内容 学科DP番号／DP内容：管栄1-5／対象者の状態に沿った食事の調理・提供及び食事・栄養管理ができる栄養と食に関する知識と技能を有している。 成績評価方法：実習課題・報告内容 学科DP番号／DP内容：管栄2-3／健康増進や疾病予防、治療につながる栄養状態に応じた栄養マネジメントの実施能力を有している。 成績評価方法：実習課題・報告内容 学科DP番号／DP内容：管栄3-3／管理栄養士として自らの力で課題を発見し、それを解決することで社会に貢献可能な実践力を身に付けている。 成績評価方法：実習課題・報告内容 〔 この授業と関連する大学全体の教育目標 〕 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容：責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法：実習課題・報告内容 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容：協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する（協働する）能力・姿勢 成績評価方法：実習課題・報告内容 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容：問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法：実習課題・報告内容 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容：計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力 成績評価方法：実習課題・報告内容 〔 教科書（ISBN） 〕 〔 参考書（ISBN） 〕			